

ヘルパーステーションだいとう ケアレポート No.1

今回よりヘルパーステーションだいとうの活動の紹介をケアデータを中心にお知らせします。お届けはニューズレターの発行に合わせてたいと考えています。

表-1 をご覧下さい。もっとも基本的なデータですが、姫路市の要介護認定者は平成 16 年 4 月現在で 14、483 人です。そのうち介護保険の利用者（ケアプラン数）8、679 人で、訪問介護（ホームヘルパー）利用者は 3、798 人です。また、ヘルパーステーションだいとうの利用者 214 人を含めて要支援から要介護度 5 の内訳（割合%）を示しています。

表-1 介護保険利用者割合（%）（平成 16 年 4 月）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実人数
姫路市認定者数	18.2	31.7	15.3	13.1	12.1	9.0	14,483
姫路市居宅介護	18.0	37.8	17.1	12.6	8.9	5.6	8,679
姫路市訪問介護	22.6	41.4	13.7	8.8	7.5	6.1	3,798
だいとう訪問介護	18.7	30.8	12.6	9.8	14.5	13.6	214

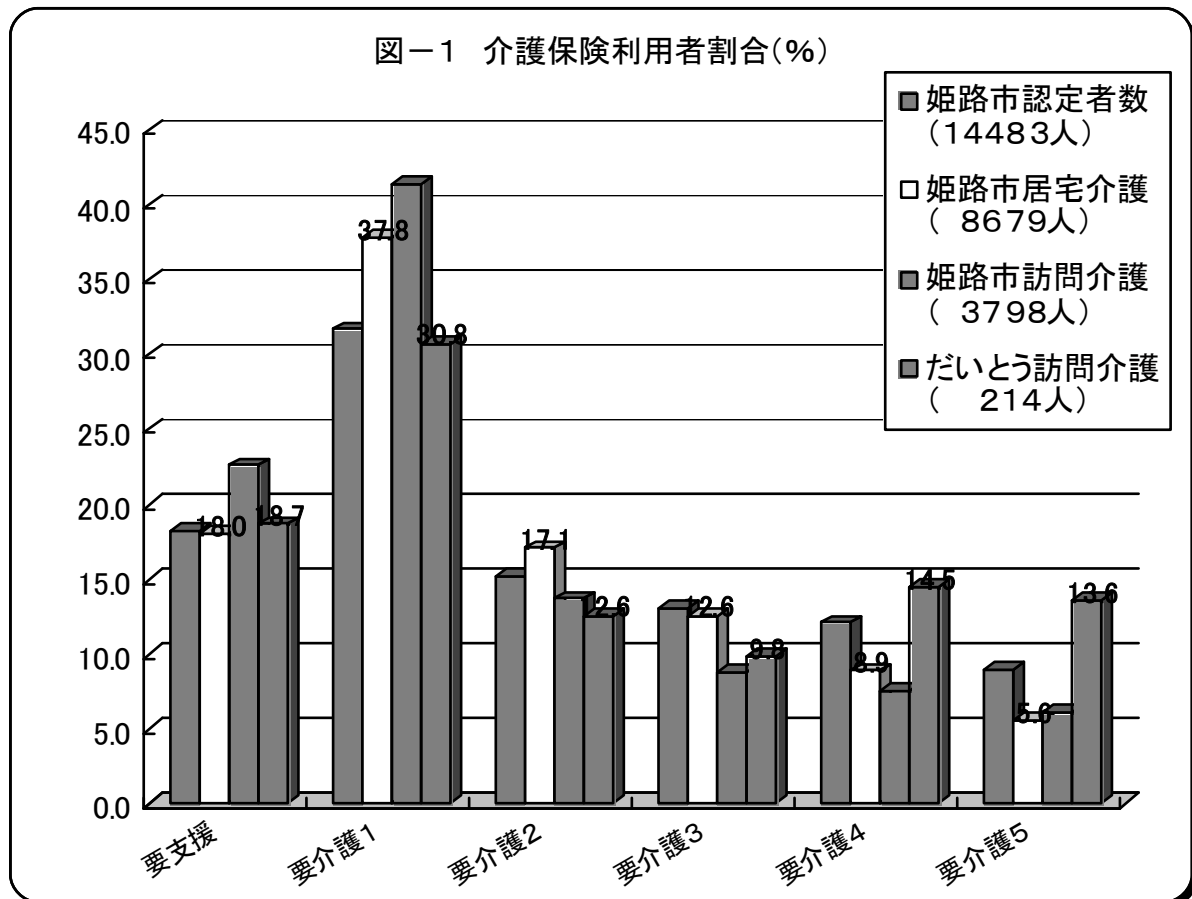


図-1のグラフと合わせてご覧下さい。姫路市全体の認定者、介護保険利用者、訪問介護利用者の割合の傾向は似通っていて、共に要介護度1をピークにその後暫減して行きます。私どものステーションも同じ傾向を示し、要介護度1の利用者の方が最も多いですが、要介護度4、5の利用者も他に比べると多い傾向を示しています。

データには示されていませんが、ヘルパーステーションだいたうが全体の傾向と少し異なるのは、1回あたりの訪問時間が短かく、末期がん患者さんなどの重症化したお宅にもお伺いするので、介護度が高く、身体介護の割合が少し多いようです。

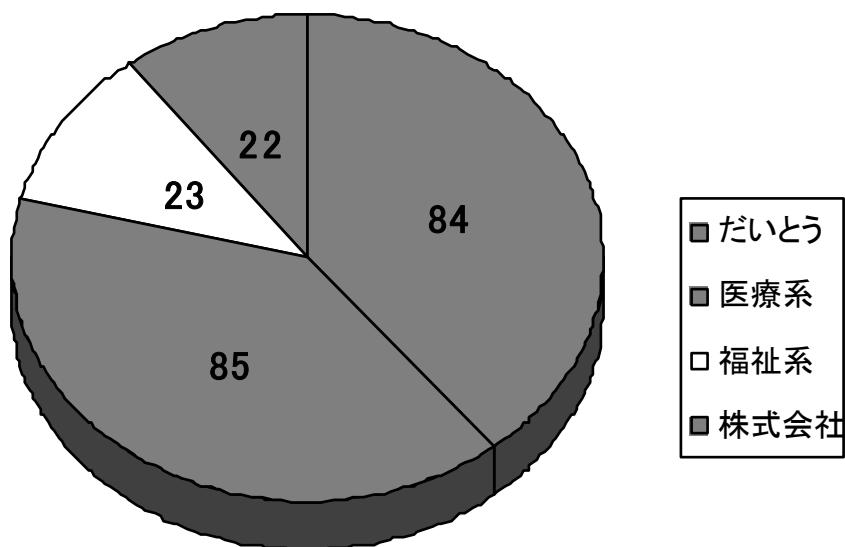
とは言え、ご利用の際にはヘルパー利用の制限をしたり、身体介護に特化しているわけではないので、やはり生活支援（家事援助）も大きな割合を占めています。在宅での日常生活を継続して行くには、家族の介護力が減ってきている現状では家事援助は欠かせません。お手伝いさんと違って、快適さを追求するだけでなく自立支援を目的とした介護保険での家事についてのあり方について皆さんと一緒に考えて行きたいと思えます。

次に下記にヘルパーステーションだいたうへの依頼先の内訳をお示しします。だいたうクリニックを含め医療系が圧倒的に多いことを示しています。ケアマネージャも背景資格は看護師が最も多いです。利用者の皆さんは何らかの医療的な疾病をお持ちですが、私どものステーションがその点にも信頼頂けていると理解しています。

表-2 居宅介護支援事業所の内訳（件数）

だいたう	医療系	福祉系	株式会社
84	85	23	22

図-2 居宅介護支援事業所の内訳（総数214件）



皆様の信頼の応え
 なるべくスタッフ一同精進して参りますので、これからもよろしくお願ひいたします。